

## 2022年度 事業報告書

(事業期間：2022年4月1日～2023年3月31日)

認定NPO法人大阪精神医療人権センター

### 第1 事業の概要

2022年度も、「精神医療および社会生活における精神障害者の人権を擁護する活動を行うとともに、それを通じて精神障害者に対する社会の理解を促進し、障害の有無にかかわらず、人間が安心して暮らせる社会に一步でも前進させるべく貢献すること」を目的として、①声をきく（個別相談活動）、②扉をひらく（訪問活動・情報公開）、③社会をかえる（政策提言）の3つの活動を行いました。

### 第2 「声をきく」活動の実施状況と成果

#### 1 個別相談活動の実施

精神科に入院中の方やそのご家族等からの個別相談（電話相談・手紙・面会）を実施しました。

#### ≪相談件数（延べ件数）≫

	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
1 手紙	500件	444件	329件	200件	60件	33件	36件	30件
2 FAX	3件	4件	7件	2件	1件	0件	2件	5件
3 メール	64件	49件	105件	41件	14件	44件	4件	6件
4 電話	931件	776件	830件	885件	1021件	854件	830件	679件
5 面会	15回 3病院	24回 4病院	7回 4病院	179回 17病院	171回 19病院	102回 15病院	39回 12病院	27回 10病院
6 オンライン面会	39回 4病院	29回 5病院	7回 2病院					
合計	1552件	1326件	1285件	1307件	1267件	1033件	911件	747件

\*別紙1 電話相談内容/別紙2 面会実施詳細状況

#### (1) 電話相談

毎週水曜日午後に、2回線でヘッドホンを導入して相談を受けられる体制で行っています。水曜日以外の他の曜日（月金土）の電話相談を行う場合は、留守番電話・入院中の方への手紙・ホームページ・フェイスブック等で事前告知を行いました。

#### 【傾向と分析】

電話相談の件数は、2020年度は830件、2021年度は776件に減少しましたが、2022年度は931件に増加しました。この要因には、電話相談が集中する水曜日に2名体制で対応することで電話が取れる数が増えていることがあると思われます。

## (2) 面会・オンライン面会

大阪府内の精神科に入院中の方を対象に、実地での面会・オンラインでの面会を行いました。オンライン面会は、①各病院が実施するオンライン面会としての実施、又は②研究事業（協力病院：榎坂病院・大阪さやま病院・久米田病院・七山病院・ねや川サナトリウム・浜寺病院）の一環としての2通りで実施しました（※研究事業：厚生労働行政推進調査事業補助金（障害者政策総合研究事業）「地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究」精神障害者の意思決定及び意思表示支援に関する研究）。

### 【傾向と分析】

面会調整の連絡は、2022年度は76件でした。弁護士の面会に同行したことや、研究事業によるオンライン面会をきっかけに、一部の病院では実地での面会ができました。

「面会希望・問い合わせ」の連絡は2022年度は30件でした。2020年度以降新型コロナウイルス感染症流行によって実地での面会が難しくなりましたが、2022年度も変わらず面会を希望されるお電話がありました。

## (3) 手紙・メール・FAX

### 【傾向と分析】

手紙による相談は、2021年度は444件、2022年度は500件でした。「手紙がほしい」という連絡は、2021年度は96件、2022年度は98件でした。2020年以降増加傾向にあり、前年度同様、面会に行けない代わりにということで、当センターから積極的に手紙を書いたり、電話相談のためにテレホンカードを送っていることが影響していると思われます。

## 2 電話相談の基盤整備と強化

### (1) 面会活動経験交流会の実施と報告書の作成

活動参加者間の交流と参加者の声（とくに困りごと）を聞くことを目的に開催しました。事前に、面会活動参加者全員に対して「面会活動におけるアンケート」を行い、交流会ではその回答をもとに少人数のグループで意見交換をしました。

参加者からは面会活動にまつわる様々な困りごとが話され、多くの参加者から「こういう交流会がまたあるといい」という意見をいただきました。また、困りごとというほどではなくとも「ほかのみなさんはどうされているのか」「面会でこういう対応をしたけれども、よかったのでしょうか」といったことも話題となりました。出された意見をもとに2023年度以降に取り組むべきこととして論点整理をしました。

### 【実施内容】

<第1回> 日 時 2022年9月11日（日）13:00～16:00  
場 所 PLP会館（大阪市北区）  
参加者 7名

<第2回> 日 時 2022年10月10日（月・祝）13:00～16:00  
場 所 PLP会館（大阪市北区）  
参加者 10名

### 交流会参加者より

交流会の後、参加者には参加してよかったことと交流会で得た気づきについて、自由記載でアンケートに答えてもらいました。12名の方から回答がありました。

参加してよかったこととして、「多くの経験を聞くことができてよかった」、「貴重な学びになった」など、全員から肯定的な意見をいただきました。また、「面会に行って『自分はいまうまくできていないんじゃないか』とってしまう状況もあるようで、そのこと自体を情報共有するこ

とで、こんな面で役立てていた（意義がある）と考えられてよかった」、「疑問に思っていたことを一緒に考えることができた」、「振り返る機会をもててよかった」と書いてくれる方もいました。他の参加者の意見を聞くことで、改めて自分の関りを思い起こし、不安解消にもつながったようです。

面会活動については、守秘義務もあるため、今まで自分の経験を他の人に話す機会はなかったようです。今回初めてこのような会を持ち、人によって「スタンス」や「指標」に違いがあることに気づいた人もいましたし、手順がわからないまま面会活動を始めたので「手引きでの活動の共有はありがたい」との意見もありました。そして、「今の自分にはない引き出しを増やしていく必要があると感じました」、「急性期ならではの聞き方や情報提供の工夫の仕方がありそう。できること、できないことの整理は引き続き丁寧に続けたい」、「面会にあたっての心構えや情報提供の引き出しを持っておくことを普段から意識しておくことが大切だと感じました」と、それぞれの課題の意識付けになったということでした。

さらに、「相手(本人・病院スタッフ)への伝え方のバリエーションが色々あるもんだ！と分かりました」や「こんなやりとりをしたらうまくいくかも」など、次の面会をよりよいものにするヒントを得て、「もっと入院中の方の声をききに行きたいという気持ちが強まりました」と意欲を高めることができたようでした。そして、面会に行く病院がそれぞれ限られていることもあって、知らない病院の話など「他の面会活動の方と話す機会は視野が広がりよい」との意見もありました。

このように、交流会を定期的で開催してほしいと望む声が多くありました。

※Panasonic助成事業

### 3 精神科アドボケイトの養成

#### (1) 精神科アドボケイト養成講座－実践編－

2021年度に引き続き、厚生労働省の研究事業（※）の一環として行われた精神科アドボケイトの養成講座－実践編－の実施に協力しました（※厚生労働行政推進調査事業補助金（障害者政策総合研究事業）「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進する政策研究」分担研究「精神障害者の権利擁護に関する研究」。これまでの当センターで実施してきた個別相談活動や個別相談活動参加者のための養成講座の開催経験をもとに、当センターの経験や思いを共有するために参加しました。

日時	2022年9月18日(日)9:30～17:30 2022年9月19日(月・祝)9:30～17:30
開場	新大阪 オンラインとのハイブリッド形式
参加者	16名
対象者	精神科入院者の個別相談活動に関心のある方・参加希望の方
内容	各テーマについて、レクチャーとグループにわかれて演習を行いました。 <1日目> 1 オリエンテーション基礎講座のふりかえり 藤井千代さん（国立精神・神経医療センター） 2 精神科アドボケイトの理念

	角野太一（当センター理事・個別相談検討チーム） 3 入院している人から話を聞く 彼谷哲志（当センター運営会員・個別相談検討チーム） 4 精神科アドボケイトの過程 彼谷哲志（当センター運営会員・個別相談検討チーム） 5 精神科アドボケイトが知っておくべき資源 西川健一（当センター運営会員・個別相談検討チーム） <2日目> 6 精神科アドボケイトの倫理 桐原尚之さん（全国「精神病」者集団） 7 組織としての関わりと安全管理 藤原理枝（当センター理事・個別相談検討チーム）
--	---

※詳細は研究報告書参照

### 第3 「扉をひらく」活動の内容

#### 1 訪問活動の実施

##### (1) 療養環境サポーター活動

##### ≪病院への訪問活動≫

新型コロナウイルス感染症の影響により2020年3月以降、この活動は停止しています。2022年度の大阪府療養環境検討協議会において、2023年の訪問再開に向けての提案を行いました。

##### ≪大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会≫

療養環境サポーター活動について検討する大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会が2か月に1回開催され、2022年度は会場とオンラインのハイブリッド形式で開催されました。当センターから2名の委員（代表大槻和夫の代理として、理事の東奈央、副代表の山本深雪）が参加しました。

日時	2022年5月27日・7月22日・9月23日・11月25日 2023年1月27日・3月10日 14:00~16:00
会場	大阪府こころの健康総合センター（大阪市東住吉区） オンラインとのハイブリッド形式
構成機関等	大阪精神科病院協会／大阪精神科診療所協会／日本精神科看護協会大阪府支部 ／大阪精神保健福祉士協会／大阪弁護士会／大阪精神医療人権センター／大阪 精神障害者連絡会／大阪府精神障害者家族会連合会(だいかれん)／大阪府社会 福祉協議会／大阪府保健所長会／大阪府（健康医療部保健医療室地域保健課及 び大阪府こころの健康総合センター）／大阪市（大阪市こころの健康センタ ー）／堺市（健康部精神保健課及び堺市こころの健康センター）／学識経験者
内容	①大阪府内の精神科病院へのアンケートと結果についての検討 ②療養環境サポーターの訪問時の確認事項の説明と意見交換 ③大阪府・大阪市・堺市における地域移行事業の実施状況の説明と質疑 ④地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制の実現に向けた検討会報告書 について 検討会委員（オブザーバー参加）からの説明と質疑 ⑤大阪精神医療人権センターにおける個別訪問活動についての説明と質疑 ⑥入院者訪問支援事業について厚生労働省からの説明の情報共有と意見交換

	<p>⑦大阪精神医療人権センターからの提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で病院訪問を実現するための新型コロナ感染対策マニュアル</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う活動再開について</li> </ul>
--	---

## (2) 観察法病棟訪問

この活動では、法律専門職である弁護士と当センターの職員が連携、協力して、入院中の方と面会し、当センターが長年蓄積してきたノウハウや情報を提供し、相談を受けるとともに、法的観点からの助言を行ってきましたが、2022度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。

## 2 630調査

### (1) 大阪府に対する情報公開請求

2022年度の630調査について、大阪府知事に対する情報公開請求により大阪府内（大阪市・堺市含む）全ての精神科病床のある医療機関についての情報が開示されました。

### (2) 他団体との取り組み

2022年度も、大阪以外の地域（例：千葉県や神奈川県）で630調査が開示されていないこと、これに対する審査請求の取組等について情報提供や意見交換が行われました。

日時	参加者	内容
2023年2月3日(金)	当センター・長谷川利夫さん	情報共有・今後の進め方についての意見交換
2023年2月6日(月)	精神医療人権センター（東京・埼玉・神奈川・大阪・兵庫）等	情報共有・今後の進め方についての意見交換

## 第4 「社会をかえる」活動の内容

### 1 権利擁護システム研究会（オンライン）

2017年から本研究会を開始し、年度ごとにテーマを設定し、識者からの報告を踏まえて参加者同士が意見交換を行ってきました。2022年度は「家族」をキーワードに、「家族」という立場の人たちにどんな問題が起こっているのか、実態、その背景や構造について、さまざまな角度から理解を深め、議論しました。1回目は、当センターの活動に参加されている家族の立場にある人から、ご自身の思いや経験を語っていただき、実態に迫るお話を聞くことができました。2回目は、元保健所職員で研究者の塩満卓さんより、家族を中心にした法制度や精神医療政策の課題について、3回目は、家族会連合会（みんなねっと）の岡田久実子さんより、みんなねっとという全国組織の活動・役割等について、それぞれお話し頂きました。

また、〈番外編〉では2022年9月に国連勧告を受けて、「障害者権利条約」について学びを深めました。ゲストスピーカーの東俊裕さんは障害者権利条約の起草及び批准に向けて尽力され、批准後も障がい者制度改革推進会議担当室長をつとめるなどして権利条約に合わせた国内法の整備がすすむよう取り組んでこられました。これまでの取り組みから権利条約についてお話し頂きました。そして桐原 尚之さんは今回の審査の「プリー

フィング」に参加し、「建設的対話」を傍聴してられました。審査の様子や今後の動きについてご報告いただきました。今後、わたしたちにできること、目指す方向について一緒に考えていきたいと思っています。

### (1) 2022年度権利擁護システム研究会

進行・運営 東奈央（理事）・原昌平（理事）・藤原理枝（理事）

ファシリテーター 竹端寛（運営会員・兵庫県立大学）

参加者 25名（参加費：5000円 割引参加費 2500円）

	開催日時	テーマ・内容
第1回	2022年12月3日（土） 14:00～16:00	家族の立場から体験と課題の提起 子ども・親・きょうだいの立場から
第2回	2023年月1月28日（土） 14:00～16:00	ケアの脱家族化の阻害要因 塩満卓さん（佛教大学社会福祉学部 准教授）
第3回	2023年3月4日（土） 14:00～16:00	精神障がい者家族会について／みんなねっと精神 保健医療福祉への提言と精神障がい者家族 岡田久実子さん（みんなネット理事長）

### (2) 番外編

進行・運営 東奈央（理事）・原昌平（理事）

ファシリテーター 竹端寛（運営会員・兵庫県立大学）

日時	テーマ・内容	参加者 参加費
2022年10月30日（日） 14:00～16:15	障害者権利条約について 東俊裕さん（熊本学園大学・弁護士） 桐原尚之さん（全国精神病者集団）	40名 1500円

### (3) 2021年度権利擁護システム研究会まとめ作成

2021年度の研究会で取り上げた障害者虐待防止法と精神医療審査会について、研究会に参加者に中心となって「2021年度研究会まとめ」を作成していただきました。

ふたつのまとめは別々に作成されましたが、共通した観点がいくつかあります。そのひとつは「誰のための法制度なのか」という点です。たとえば、審査会のまとめにある代理人は弁護士でなくてもいいということがご本人に十分説明されていないこと、審査結果がでるまでに時間がかかることなどは、審査会制度の対象者からすれば、とても重要な課題です。そして、これらは法制度自体を変えなくても運用体制を整備すれば実現することです。また、審査会の意見聴取を入院中の方に対して行うことが義務となっていないという問題は法制度を変えないと実現しませんが、「誰のための法制度なのか」という観点にたてば義務にすることが当然だといえます。また、虐待防止法のまとめでは、この法律について「障害当事者やその家族が知っていて、障害当事者が自分で通報できるぐらい周知されていくことが必要だが、ここの認識はとても薄い」ことを指摘しています。

## 2 権利擁護活動の拡充に向けて

### (1) 厚生労働行政推進調査事業補助金（障害者政策総合研究事業）「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進する政策研究」分担研究「精神障害者の権利擁護に関する研究」

個別相談検討チームの彼谷哲志が研究協力者として、理事の角野太一、事務局上坂紗絵子がオブザーバーとして参加し、大阪でのこれまでの実践をもとに精神科アドボケイト養成講座のカリキュラム案や養成講座の内容を提案しました。

班会議・開催日	2022年4月20日、6月28日、8月1日、8月31日、11月14日 2023年3月25日
検討内容	精神科アドボケイト養成講座（カリキュラム・内容）

### (2) 入院者訪問支援事業に関する厚生労働省への協力（新項目）

(1)の研究を踏まえて、「地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制の実現に向けた検討会 報告書」（2022年6月）が発表され、これを受けて、2022年12月の精神保健福祉法改正で「入院者訪問支援事業」が新設されました。同事業は当センターの活動が1つのモデルとされており、当センターとして、これまでの経験や実績等の説明等を行いました。

#### ①厚生労働省からの聞き取りへの協力

2022年8月19日に厚生労働省から当センターの活動に関する聞き取りがあり、活動参加者・事務局から当センターの個別相談活動の実際についての説明、大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会議の委員・元委員から協議会や協議会ができるまでに精神科病院や行政、他団体との間でどのような議論がなされてきたのか等を説明しました。

#### ②厚生労働省自治体向け説明会への協力

2022年9月6日自治体向け説明会において、彼谷哲志（個別相談検討チーム）が当センターの個別相談活動、上坂紗絵子が大阪における精神科病院との関係（主に療養環境検討協議会の開催までの経過と現状）を紹介しました。

### (3) 全国検討チームまとめ

2020年から2021年に開催した全国検討チーム（神奈川・埼玉県・兵庫県・大阪精神医療人権センターが参加）で出された意見についての論点整理をおこない、報告書としてまとめました。

※日本財団助成事業

### (4) ネットワーク会議

2021年度に引き続き、ネットワーク構築・連携強化、精神医療人権センターの設立・活動開始の可能性とハードルを明らかにすること、入院中の方の権利擁護の拡充につなげることを目的に開催しました。各地の精神医療人権センターが集まり、電話相談や運営等についての情報交換を行い、入院者の権利擁護活動の拡充についての課題や対応について意見交換をしました。

開催方法 オンライン

参加者：神奈川・埼玉県・東京・兵庫県・大阪精神医療人権センター

オブザーバー参加：どさんこコロ（北海道）

	日程	テーマ・内容	進行／話題提供
第1回	2022年8月25日	これまでの振り返り	藤原理枝（理事）
第2回	2022年10月17日	これまでの振り返りと今後	藤原理枝（理事）
第3回	2023年月2月17日	活動参加者に向けた説明動画の作成について	神奈川精神医療人権センター 濱田唯
第4回	2023年2月15日	電話相談について	兵庫県精神医療人権センター 吉本広志／西川良一

※日本財団助成事業

#### （5）権利擁護センターの立上げ・運用スキームに関するサポートの提供

ア 視察・交流会の実施（横浜市）

2022年8月11日 神奈川精神医療人権センター参加者・関係団体と実施

イ 神奈川精神医療人権センターと助成事業打ち合わせ・進捗等情報共有（オンライン）

※日本財団助成事業

#### （6）他地域での集会の開催

北海道「どさんこココロ」設立集会 「知ってほしい精神科アドボケイトのこと」

日時 2022年10月29日（土）14：00～16：30

場所 アスティ45（札幌市）

参加者 73名（会場25名／オンライン48名）

※詳細は人権センターニュース164号

### 3 入院者の権利擁護に関する講演会等の開催

設立37周年記念講演会 あらためて考える精神医療審査会と障害者虐待防止法	
日時	2022年11月12日（土）13:00～16:30
会場	大阪弁護士会館（大阪市中央区）
参加者	80名
参加費	500円
内容	<p>2021年度の権利擁護研究会で取り上げたテーマである、精神医療審査会と虐待防止法を中心に、権利擁護研究会参加者からのご報告をいただきました。</p> <p>発言 2021年度権利擁護システム研究会まとめプロジェクトチームメンバー 松本真由美さん、辰巳佳寿恵さん、横山美枝さん、東奈央</p> <p>記念講演 隔離等強制措置法制度が形成した差別偏見の社会構造 ハンセン症違憲国賠訴訟での経験や、2022年に出された旧優生保護法違憲判決を踏まえたお話をいただきました。</p> <p>講師 八尋光秀さん（弁護士／西新共同法律事務所） コーディネーター 竹端寛（運営会員 兵庫県立大学）</p>

	当センターとしては、3年ぶりのリアルでの開催で、とても熱気ある集会となりました。
後援	DPI日本会議、日本障害者協議会、全国精神保健福祉会連合会、地域精神保健福祉機構、全国精神障害者地域生活支援協議会、日本精神保健福祉士協会、日本精神神経科診療所協会、大阪精神障害者連絡会、大阪府精神障害者家族会連合会、大阪精神科病院協会、大阪精神科診療所協会、大阪精神保健福祉士協会、大阪弁護士会、近畿弁護士会連合会、神奈川精神医療人権センター、埼玉県精神医療人権センター、東京精神医療人権センター、兵庫県精神医療人権センター
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神医療審査会請求の内情について知ることができて、自分が関わっているケースにいかせるのではないかと思えた。</li> <li>精神医療審査会の現状を知り、その限界について考えることができました。また、処遇改善請求後の医療従事者の対応の実際を知ることができ、どのような権利擁護（医療、司法、福祉）サポートが必要なのかを考えさせられました。</li> <li>強制入院の廃止に向けた権利擁護運動に本格的に取り組まなければならないと、決意を新たにしました。</li> <li>「主体性の回復をサポートする」というお話が印象に残った。自分もそうありたいと強く思った。大切な視点。</li> <li>精神障害者の家族として当事者が受けた保護室での扱いについて見聞きしたことを封印してしまおうとしていたことに改めて気づかされた。やはり、言語化して記録して残して訴えていかないといけないと思いました。</li> <li>グループでの意見交換が大変参考になりました。他の人の意見・体験を聞く機会があって良かったです。</li> </ul>

※詳細は人権センターニュース165参照  
 ※日本財団助成事業

#### 4 公演「精神病院つばき荘」・アフタートーク

本公演は、2020年4月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により延期となっていました。感染状況が落ち着いたことから今回の実施となりました。実施にあたってはクラウドファンディングを行いました。

##### クラウドファンディング

「表現を原動力に『声』をとりもどす！演劇で精神医療を変えたい」

時期 2022年9月4日から10月5日

支援金額 1,450,000円（目標金額 1,200,000円）

支援者 149名

公演「精神病院つばき荘」・アフタートーク	
日時	2022年10月7日（金）18：00～21：00 2022年10月8日（土）13：00～16：10
会場	イコーラムホール（東大阪市）

参加者	250名
参加費	当事者チケット1,000円／一般チケット2,000円
内容	演劇「精神病院つばき荘」の上演会とアフタートークを開催し、精神医療のかかえる構造的な問題、その構造をつくりだす社会や人々のあり方、現状をかえていくために表現することの大切さを発信しました。
共催	東大阪市指定障害福祉サービス等事業所連絡会

※詳細は人権センターニュース164参照

## 5 精神保健医療福祉（医療観察法・身体拘束要件緩和）に関する他団体との取り組み

### （1）医療観察法を廃止しよう全国集会！

共催企画、講師派遣、情報発信を行いました。

<共同呼びかけ>

心神喪失者等医療観察法をなくす会

国立武蔵病院(精神)強制・隔離入院施設問題を考える会

認定NPO法人大阪精神医療人権センター

心神喪失者等医療観察法（予防拘禁法）を許すな！ネットワーク

日時	2022年7月24日(日)14:00～16:30
会場	としま区民センター（東京都豊島区） オンラインとのハイブリッド形式
参加費	500円
内容	テーマ 日本の強制医療を変える新たな闘いへ 講師：池原毅和さん（弁護士） 発言：有我讓慶さん（当センター理事） 山口創一さん（刑法・少年法改悪に異議あり！緊急アクション） 吉田明彦さん（精神医療サバイバーズフロント関西主宰）

日時	2022年11月27日（日）14:00～16:30
会場	北とぴあ（東京都北区） オンラインとのハイブリッド形式
参加者	104名（来場参加44名、オンライン参加60名）
参加費	500円
内容	テーマ 「強制入院廃止へ」国連勧告を受けてー 障害者権利条約審査報告 ー 講師：東 奈央（弁護士、当センター理事）

## (2) 身体拘束実施基準の「見直し案」に関する院内集会

後援、情報発信を行いました。

テーマ	身体拘束ゼロをめざす院内集会「第3弾」
日時	2022年4月28日(木) 12:30~14:30
会場	衆議院第一議員会館多目的ホール（東京都千代田区） オンラインとのハイブリッド形式
参加費	無料
内容	厚生労働省の検討会で示された身体拘束実施基準の「見直し案」をテーマに開催されました。 基調報告 長谷川 利夫さん（杏林大学教授） リレートーク 岡田 久実子さん（全国精神保健福祉会（みんなねっと）理事長） 伊勢田 堯さん（東京都立多摩総合精神保健福祉センター 元所長） 木太 直人さん（日本精神保健福祉士 常務理事） 桐原 尚之さん（全国「精神病」者集団） 佐々木 信夫さん（弁護士・石川身体拘束裁判担当弁護士）
主催	精神科医療の身体拘束を考える会
後援	特定非営利活動法人全国精神障害者地域生活支援協議会（あみ）／公益社団法人日本精神保健福祉士協会／公益社団法人全国精神保健福祉会（みんなねっと）／全国「精神病」者集団／精神保健福祉事業団体連絡会／認定NPO法人DP I 日本会議／NPO法人日本障害者協議会(JD)／日本障害フォーラム／東京都地域精神医療業務研究会／埼玉県精神医療人権センター／認定NPO法人大阪精神医療人権センター／東京精神医療人権センター

## (3) 滝山病院事件に関する院内集会

後援、情報発信を行いました。

テーマ	もうこれで最後にしよう！滝山病院事件の問題点の徹底追及を通して精神医療体制の転換を目指す緊急キックオフ集会」
日時	2023年3月9日(木) 12:00~14:00
会場	衆議院第二議員会館・第8会議室（東京都千代田区） オンラインとのハイブリッド形式
参加費	無料
内容	あいさつ 長谷川利夫さん（杏林大学教授） 報告 相原啓介さん（弁護士）／木村朋子さん（東京都地域精神医療業務研究会）／小幡恭弘さん（みんなねっと事務局長）／木太直人さん（日本精神保健福祉士協会常

	務理事) / 増田一世さん (JD常務理事) / 細江昌憲さん (滝山病院退院支援連絡会代表) / 佐々木信夫さん (弁護士) / 司会 島本禎子さん (あおば福祉会理事長)
主催	精神科医療の身体拘束を考える会
後援	日本障害者協議会 (JD) / 日本障害フォーラム (JDF) / 全国精神保健福祉会連合会 (みんなねっと) / 日本精神保健福祉士協会 / 日本精神科看護協会 / 全国精神障害者地域生活支援協議会 (あみ) / 東京都地域精神医療業務研究会 / 大阪精神医療人権センター / 兵庫県精神医療人権センター / 埼玉県精神医療人権センター / 神奈川精神医療人権センター / 東京精神医療人権センター / その他、全国各地の地域事業所
賛同団体	DPI日本会議

## 6 寄稿・講師派遣・取材対応等

### (1) 寄稿・掲載

発行日	雑誌名	出版社	タイトル	執筆
2022年 9月	日本精神科 病院協会雑 誌	日本精神科 病院協会	地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制の実現に向けてー権利擁護活動の立場からー	山本
2023年 1月	「こころ元 気+」	コンボ	<u>ちょっと知りたい！第95回「精神医療人権センター」</u>	森本 上坂
2023年 2月	ヒューマン ライツ	部落解放・ 人権研究所 ヒューマン ライツ	<u>特集 なぜ障害者は地域で暮らせないのか：国連の総括所見をふまえて 精神科病院の社会的入院について：大阪精神医療人権センターの活動から</u>	上坂

### (2) 講師派遣

開催日	テーマ・内容	主催	対応
2022年4 月20日	これ以上、人生といのちを奪うな！今こそ、精神保健福祉法体制を問い直す院内集会 参議院議員会館 「精神科病院における新型コロナウイルス感染の状況」	地域でくらすための東京ネットワーク・病棟転換型居住系施設について考える会 (東京都)	有我
2022年6 月15日	精神障害者の権利擁護	岩手県立大学社会福祉学部精神保健福祉援助技術の基盤	たにぐち 西川
2022年 7月8日	コロナ禍での面会面会ボランティア養成講座	西宮市精神障害者地域移行推進事業推進会議/NPO法人ハートフル (西宮市)	上坂
2022年8 月17日	ピアサポーター研修	大阪市こころの健康センター (大阪市)	山本
2022年1 2月3日	DPI障害者政策討論集会「権利擁護分科会」「精神科病院の『中』の	DPI日本会議 (東京都)	有我

	声から人権を考え、何ができるか考える」		
2022年 12月15日	職員研修「大阪精神医療人権センターの取り組みの紹介」	湊川病院（神戸市）	小田原 関口
2023年 1月13日	大阪精神医療人権センター個別相談活動について	西宮市精神障害者地域移行推進事業推進会議/NPO法人ハートフル（西宮市）	藤村 森本
2023年2 月9日	ひょうかれん メンタルヘルスセミナー-2022	ひょうかれん（神戸市）	有我
2023年2 月24日	職員研修「ピア活動の今後について～当事者の立場から」	なごみ福祉会（堺市）	山本
2023年3 月26日	ここからはじまる・精神医療アドボケイト～岡山での活動開始へ向け、大阪の取り組みから学ぶ～	岡山県精神保健福祉士会（岡山市）	角野
2023年3 月31日	職員研修「障害者の虐待防止について、特に精神障害者の入院や地域生活にまつわる人権の問題」について	特定非営利活動法人 中央むつみ会（神戸市）	山本

### （3）取材対応

掲載日	掲載メディア	内容	対応	URL
2022年4月 26日（電子版 4月21日）	しんぶん 赤旗	<a href="#">精神科病院における新型コロナウイルス感染の状況について</a>	有我	<a href="https://www.jp.or.jp/akahata/aik22/2022-04-21/2022042114_01_0.html">https://www.jp.or.jp/akahata/aik22/2022-04-21/2022042114_01_0.html</a>
2022年 12月23日	読売新聞	精神科患者に訪問支援 大阪の取り組み全国展開へ	藤村	
2022年 12月25日	山陽新聞	<a href="#">岡山の弁護士ら「アドボケイトセンター」設立 精神科患者の意思表示支援</a>	藤村	<a href="https://medica.sanyonews.jp/article/28942/">https://medica.sanyonews.jp/article/28942/</a>
2023年2月 25日	NHK	<a href="#">「ルポ 死亡退院 ～精神医療・闇の実態～」の放映</a>	有我	<a href="https://www.nhk-ondemand.jp/goods/G2023125767SA000/">https://www.nhk-ondemand.jp/goods/G2023125767SA000/</a>

### （4）調査対応

2023年3月6日、日本精神保健看護学会の依頼を受け、大阪精神医療人権センターの個別相談活動と似た取り組みの他府県への拡がりの状況等について調査対応を行いました。本調査の結果は「精神科病床を有する医療機関等での虐待防止と権利擁護に関する取り組みに関する報告書」の『大阪精神医療人権センターの活動実績と市民による権利擁護の取り組みの全国的拡がりへの可能性—現状と課題—』に掲載されました。

調査者：日本精神保健看護学会 福嶋美貴氏（金城学院大学 看護学部）  
 対応：当センター 事務局 上坂・森本

## 7 国や自治体、他機関の会議等への参加

- (1) 厚生労働行政推進調査事業補助金（障害者政策総合研究事業）「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進する政策研究」分担研究「精神障害者の権利擁護に関する研究」
- (2) 大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会
- (3) 堺市精神保健福祉審議会
- (4) 大阪府社会福祉協議会運営適正化委員会
- (5) 大阪府社会福祉協議会権利擁護推進運営協議会

## 8 情報発信

- (1) 人権センターニュース・メルマガの発行
- (2) ホームページ
- (3) SNS（Facebook・YouTubeチャンネル・note）

## 第5 活動の充実・強化に向けて

活動の継続や充実に向けては組織基盤の強化が必要であり、2022年度は以下のことに取り組みました。

### 1 組織基盤の強化

2020年度にPanasonic助成事業で実施した組織診断結果をもとに、組織内コミュニケーションの強化として若手ボランティアが主体となって「人権センターについて教えてください」の会を実施しました。当センターに関わったきっかけ、活動をしている理由、歴史などを主なテーマとして意見交換をしました。

日 時 2022年8月20日（土）

①10:30~12:00 ②13:00~14:30 ③15:00~16:30

場 所 エルおおさか 本館10階 研修室5（大阪市北区）

### 2 活動参加者勉強会

テーマ 著作権・肖像権について

日 時 2022年6月25日（土）

開催方法 オンライン

講 師 平塚崇さん（北大津さぼう法律事務所 弁護士）

当センターの活動参加者は、精神医療政策も含めて、様々な媒体で意見発信を行うことがあります。新聞記事や動画の利用だけでなく、イラストや表の利用の是非などについてご講義頂き、著作権という権利を尊重する意識を改めて共有する場になりました。

※日本財団助成事業

## 第6 その他の事業

実施していない

## 第7 社員総会の開催状況（定時総会・臨時総会） 別紙3

## 第8 理事会の開催状況 別紙4

以 上

## 2022年度電話相談内容

(※複数選択あり)

		2022年度
(1) 報告・連絡・活動問い合わせ等	1 相談にのってもらっていることについて進展があった・解決した	24
	2 退院した	8
	3 上記以外の近況報告	93
	4 面会調整	76
	5 面会希望・問い合わせ	30
	6 面会のお礼	2
	7 手紙希望・問い合わせ	98
	8 手紙のお礼	24
	9 活動への意見・メッセージ	22
	10 精神科病院や入院精神医療への意見	40
(2) 入院・入院継続	1 入院の経緯・入院時	47
	2 必要性	34
	3 説明	15
	4 入院形態	12
(3) 退院支援	1 説明	12
	2 相談	28
	3 情報提供	15
	4 家族	17
	5 退院先	22
	6 転院	7
	7 その他	33
(4) 行動制限	1 隔離	31
	2 身体拘束	24
	3 外出	38
	4 面会	13
	5 通信	9
(5) 入院生活	1 病気・治療・薬	42
	2 他科受診	3
	3 私物管理	4
	4 金銭管理	9
	5 食事・おやつ	20
	6 衛生	2
	7 喫煙	2
	8 使役	1
	9 入院費・保険外費用	1
	10 他患との関係・トラブル	3
	11 職員に相談できない・相談することで不利益になるのではと不安	12
	12 療養環境、その他	36
(6) 職員の対応	1 暴力	19
	2 暴言	21
	3 無視・放置	11
	4 対応がおそい	3
	5 審査会等への相談により不当な対応	5
	6 その他、不適切な対応	53
(7) 退院後	1 住む場	15
	2 収入	2
	3 家事	1
	4 就労・居場所	1
	5 金銭管理	3
	6 服薬管理	2
	7 家族関係	8
	8 その他	11
(8) 知りたいことがある	1 入院の種類や要件	8
	2 精神医療審査会	14
	3 社会資源	3
	4 当センターの相談受付内容	6
	5 当センターの活動内容	12
	6 他の相談窓口	32
	7 その他	51
(9) その他	1 その他	102
件数	電話件数	931

## 2022年度 面会活動の実施状況

	面会件数			面会件数合計（延 べ）	新規面会者数（名）
	実地面会	オンライン面会	事業オンライン面会		
4月	1	0	4	5	0
5月	2	0	4	6	0
6月	0	0	2	2	0
7月	2	0	4	6	1
8月	1	0	3	4	1
9月	1	0	3	4	1
10月	2	0	4	6	0
11月	1	0	3	4	0
12月	1	0	3	4	0
1月	2	0	3	5	1
2月	1	0	3	4	0
3月	1	0	3	4	0
合計	15	0	39	54	4

## 2022年度 社員総会の開催状況

### (1) 第23回定時総会

日時	2022年5月28日13:00~15:00
場所	大阪市北区西天満5-9-5 谷山ビル9階 大阪精神医療人権センター&つぐみ法律事務所 双方向による対話可能な形式でWEB開催（ZOOM）
参加者	運営会員総数 27名 出席運営会員数 25名（うち17名が会場・WEB出席、8名が委任状出席）
内容	第1号議案 2021年度事業報告書承認の件 第2号議案 2021年度事業会計活動計算書 （財産目録、貸借対照表財務諸表の注記を含む）承認の件 第3号議案 2022年度事業計画承認の件 第4号議案 2022年度事業会計活動予算書承認の件 第5号議案 定款の一部変更承認の件 第6号議案 新役員選任の件

## 2022年度 理事会の開催状況

日時	2022年	4月27日(水)	18:30~20:30
		5月25日(水)	18:30~20:30
		6月29日(水)	18:30~20:30
		7月27日(水)	18:30~20:30
		8月24日(水)	18:30~20:30
		9月28日(水)	18:30~20:30
		10月26日(水)	18:30~20:30
		11月23日(水)	18:30~20:30
		12月28日(水)	18:30~20:30
		2023年	2月1日(水)
	2月22日(水)		18:30~20:30
	3月22日(水)		18:30~20:30
	方法	オンライン(ZOOM) / 一部、会場とZOOMのハイブリッド開催	
内容	定時総会の議案の検討 個別相談活動/訪問活動/政策提言についての報告と検討財務状況の情報共有 支援者に向けた取組みの検討		